

■「地域を支える社協」であるために ～市町社協職員の経営分析に関する研究会を実施しました～

7月8日(火)、「市町社協の経営分析に関する研究会」を開催し、市町社協の事務局長や総務担当者17名に参加いただきました。

▶この研修会は、市町社協がそれぞれの経営の現状や課題を正しく理解し、限られた予算の中で安定的かつ効率的な法人経営や事業が実施できるよう、必要な基礎知識や分析手法、経営改善に向けての視点等を主体的に学ぶことを目的としたものです。▶今年度は3回にわたり開催することとしており、第1回目の今回は三宅由佳税理士事務所代表三宅由佳氏より、「経営分析の必要性、経営状況の理解について」というテーマで講義いただきました。

▶参加者からは「経営の数字を読み解く視点が持てた」「他社協と話す中で新たな気づきがあり、情報共有の大切さを再認識できた」といった声が聞かれ、実務に活かせる学びの場となりました。▶本会では、このように主体的な学びの機会を提供し、市町社協が地域福祉の中核的な組織として役割を果たし、安定した法人経営の体制を確保できるよう支援していきます。



【実例を出しながら講師へ積極的に質問をする参加者】

■福祉のお仕事と出会える日 合同就職面談会を開催しました！

7月16日(水)にSAGAプラザ大競技場にて、福祉のお仕事合同就職面談会「福祉就職フェア」を開催しました。

▶この就職フェアは、介護・保育事業所と求職者が面談を通して、福祉の職場で働くことへのイメージを深め、就職につなげることを目的としたものです。▶当日は、県内60法人がブースを構え、各々が事業所の概要をポップや写真等で飾り、求職者の方々を迎えました。当日は約100名を超える参加があり、それぞれが興味のあるブースで積極的に仕事内容や職場環境等の情報収集を行うなど、各事業所のPRに耳を傾けていました。▶今回のフェアは、福祉に興味を持つ大学生から一般就職希望者まで多岐にわたる求職者が参加しました。このフェアを通じて、福祉職は人を支える仕事であり、超高齢社会で福祉サービスの需要が高まる中、欠かせない職業であることを周知する好機となりました。▶福祉職は無資格・未経験でも就職が可能であり、事業所の支援を受けながらステップアップしていけることや、利用者から直接喜びの声を聞くことができる等、やりがいを感じられる点が大きな魅力です。▶本会では、福祉・介護の人材不足が続く中、こうしたイベントを通じて福祉の魅力を伝え、人材の確保に繋がるよう今後も取り組んでいきます。



【各ブースで事業所の説明に熱心に耳を傾ける参加者】

■養護老人ホーム/軽費老人ホーム・ケアハウス栄養士・調理員研修会 ～食材費高騰への対応と各施設の取り組み事例検討～

7月18日（金）に、佐賀市富士町の「SEBRI/セブリ（ONCRI内）」にて、佐賀県老人福祉施設協議会主催の「養護老人ホーム部会/軽費老人ホーム・ケアハウス部会合同 栄養士・調理員研修会」を開催いたしました。各施設の栄養士および調理員13名が集い、食材費高騰という喫緊の課題に対し、具体的な対策を共有し、実践的な知識を習得する機会になりました。

▶研修は、地元の食材を活用したナチュラルイタリアンのランチ実食から始まり、担当シェフによる料理解説と質疑応答を通じて、専門的な見地からの学びを深めました。▶実食後は、事前アンケートで各施設より寄せられた物価高騰対策事例に基づき、活発な意見交換と情報共有が図られました。「仕入れ先との価格交渉」「調理方法の工夫」「献立内容の見直し」など様々な工夫が紹介され、参加者からは施設の調理運営をより良くするヒントが得られたという声が多数寄せられました。▶本会は、今後もこのような研修を通して施設職員のスキルアップを支援し、利用者の食生活改善によりQOL（生活の質）を高められるよう貢献してまいります。



【シェフの話を熱心に聞く参加者】

■みんなの善意で佐賀をもっと住みやすく！

～赤い羽根共同募金、令和7年度募金の配分方針が決まりました～

佐賀県共同募金会では、7月25日（金）に令和7年度第1回配分委員会を開催しました。この委員会では、7年度の募金を活用した8年度事業として申請のあった保育園や障がい者福祉施設、県内福祉団体、さらには市町社会福祉協議会が取り組む地域福祉の活動などへの配分が承認されました。▶令和7年度の配分計画については、社会的孤立や経済的困窮者への支援などの福祉課題に対する支援の必要性が高まっていることから、地域に密着した支援活動への配分に重点を置くこととしています。

▶本会ではこの配分計画に必要な7年度募金目標額を1億4,000万円（一般募金1億1,400万円、歳末募金2,600万円）と定め、8月開催の理事会・評議員会の審議を経て決定する予定です。

▶本会としましては、県民の皆様には赤い羽根共同募金の趣旨や使いみちについて積極的に広報活動を行い、目標額を達成できるよう取り組みます。



【マスコットキャラクター
愛ちゃん(左) と希望君(右)】

■令和7年度 福祉研修センター 研修一覧■

◆ 福祉従事者全般対象 ※詳細は本会HPに掲載（<https://www.sagaken-shakyo.or.jp/>）

(新) 心をつなぐコミュニケーション研修～信頼関係を築き・伝える技術～	令和7年9月1日(月)
(新) 成長を応援！人材確保と定着支援研修	令和7年10月6日(月)
(新) 感染症から利用者・職員を守る！福祉現場で役立つ感染症対応力向上研修	令和7年10月24日(金)
(新) 職員が傷つけないためのカスタマーハラスメント対応研修	令和7年11月13日(木)
(新) 現場で活かせる「チームの要」育成実践研修	令和7年11月21日(金)
(新) 判断力を磨く！緊急時における適切な意思決定と行動のスキルアップ研修	令和7年12月 予定